

3拠点へ配信し、情報の透明性や伝達スピードの向上を実現。業務関連だけでなく、社員同士のコミュニケーションも円滑化

お客様のニーズ・課題

オフィス改装によるひとり当たりのスペース縮小による影響を、情報の透明性や伝達スピードを速めることでカバーしたい。また、コミュニケーションの円滑化を図りたい。



導入効果

売り上げ状況や朝礼時の連絡事項、新入社員や誕生日を迎えた社員の紹介など、ビジネスのオンオフ両面でコミュニケーションが活性化した。社内でも注目を浴びている。



アヴネット ジャパン株式会社様

2005年10月に設立したアヴネット ジャパン様は、米国アリゾナ州フェニックスに本拠地を置くアヴネット社の日本法人です。その前身である大倉エレクトロニクス株式会社が持つ、約20年にわたる日本市場でのFPGAの販売・技術支援の実績や膨大な技術資産は、そのままアヴネット ジャパンに受け継がれています。現在では、米国アヴネット本社のエレクトロニクス・マーケティング・グループの一員として、エレクトロニクス産業においてデザインを伴う半導体・電子部品の販売を中心にビジネスを展開しています。デザイン・チェーンとサプライ・チェーンを通じ、お客様に製品コンセプト段階から量産段階までグローバルに一貫して支援する体制をとっています。

アヴネット ジャパン株式会社 管理本部 本部長 茂木康元様と、管理本部 総務部 古賀夕紀子様にお話を伺いました。

導入背景

情報の透明性や伝達スピードを速め、コミュニケーションを深めたい。

パブリックディスプレイを導入するきっかけとなったのは、2007年の秋に実施した日本法人のオフィス改装です。以前に比べて社員ひとり当たりのスペースが小さくなり、コミュニケーションが深まるきっかけにもなる一方で、プライバシーに対する意識からかえって疎隔になる可能性もあります。それをカバーし、コミュニケーションが円滑化する環境を作るために、パブリックディスプレイをオフィス内に設置して、情報の透明性や伝達スピードを速めようと考えました。ペーパーレスのシステムであるパブリックディスプレイならば、環境問題にも配慮できます。また、米国本社が毎年グローバルに実施する社員の意識調査の結果として、情報伝達方法が常に低く評価されていることもありました。これまでは、グローバルで運用するイントラネットや電子メール以外に、日本法人独自で、売上げ推移や事務連絡、人事関連の情報などを紙に書いて壁に貼り出していました。しかし、この方法では所属拠点地域による情報格差や個人による理解差などが生じてしまいます。パブリックディスプレイを3拠点すべてに設置することで、拠点による情報格差も減らせることも大きな導入ポイントでした。(茂木様)



オフィス内にパブリックディスプレイを設置し、スピーディな情報伝達とコミュニケーションに活用。

選定理由

コンテンツ編集やスケジュール管理など、操作性のよさを評価。

デジタルサイネージプレーヤーVSP-NS7を採用したのは、シンプルな操作でコンテンツ配信やスケジュール管理が行える点です。実際に使ってみると、コンテンツの事前登録や配信設定も簡単でした。また、「これから朝礼です」「会議時間が5分延長します」など、その場の状況に応じたテロップの挿入も容易に行えるため頻繁に活用しています。要望していた機能が揃っていると思いました。(茂木様)

コンテンツの制作は、導入時していただいた簡単な説明と、マニュアルを参照することで操作できました。ひと月ぐらいで必要な操作がほぼ理解できたと思います。また、導入してから主だったトラブルもなく安定して稼働しているため、安心して運用しています。(古賀様)



専用マネジメントソフトウェアをインストールした管理用PC。コンテンツなどの管理もすべて行う。

● 導入効果

ビジネスのオン／オフ両面で活用しコミュニケーション円滑化が実現。

2008年4月に、東京本社と大阪営業所、名古屋営業所にデジタルサイネージプレーヤーVSP-NS7を1台ずつ導入しました。本社の管理用PCに、専用マネジメントソフトウェアVSPA-D7をインストールし、コンテンツの登録やスケジュール管理などを行っています。パブリックディスプレイは、拠点の規模に応じて設置数を決め、本社に4台、大阪営業所に2台、名古屋営業所に1台としました。本社と名古屋営業所には、ソニー製パブリックディスプレイFWD-40LX2Fを導入しています。

配信コンテンツは、最新の売り上げ状況や数値目標、朝礼時の連絡事項といったビジネス情報だけでなく、誕生日を迎えた社員や新入社員、永年勤続表彰となる社員の紹介などコミュニケーション活性のきっかけとなる情報も発信しています。朝礼では3拠点を電話会議で接続し、パブリックディスプレイを補足情報ツールとして使用しています。いままでは新入社員などの挨拶も声だけでしたが、現在では写真とテロップでの紹介がディスプレイに表示され、親近感が深まります。コンテンツは、あらかじめ配信していたスケジュールによる再生を行う一方で、売上げ速報など緊急性の高いメッセージを割り込み再生で表示しています。ふと思いついた内容を、その場で入力して配信できるのは便利ですね。

さらに、昼食時と15時、終業時などに、リラクゼーション用の環境ビデオを配信しています。先日は、大阪で行われた電子部品展の様子を写真撮影して持ち帰り、コンテンツとして配信しました。他拠点の社員にも盛況な会場の様子が伝わり、社員共通の話題として盛り上がりました。業務伝達だけにこだわらず、多少遊びの要素も入れることがコミュニケーション活性化につながるようです。当社はオフィス内への配信ですので、現在は静止画が中心で音声をつけていません。しかし、ビデオ配信を行いたいとか、グローバルイントラネットにアップされているトップから社員へのメッセージに、テロップで翻訳文をつけて昼食時に配信したいなど、社内からは活用に向けた建設的な意見が出ています。注目を受けている証拠だと感じています。(茂木様、古賀様)



業務時間内や朝礼時には、業務に関するコンテンツを配信。



昼食時や15時、終業時などには、環境ビデオでリラクゼーション効果を図る。

● 今後の展望

「情報の新鮮さ」を重要し、委員会を結成してスムーズな運営を図る。

現在、コンテンツ制作や編集を担当しているのは1名です。各部署から集まってきたコンテンツを単純に流しているのではなく、アイデアを出して各部署に依頼を行い、それを回収して配信しているのですが、繁忙期や出張などで更新作業が滞ってしまうこともあります。情報の鮮度は重要ですので、今後は「ディスプレイボード委員会」を結成して、4、5人のチームで担当していきたいと考えています。また、朝礼の様子をライブでビデオ配信したい、誕生日を迎えた社員が自分をアピールするコーナーを作りたいなど、使い込んでいくうちに様々な要望や活用案が出てきました。前向きな気持ちにさせるシステムですね。(茂木様、古賀様)

パブリックディスプレイの商品情報をご覧ください。
sony.jp/public-display/

ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

商品に関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ **0120-788-333**

● 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588

● FAX 0120-333-389

● 受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)

2008年9月現在